

令和4年度 第3回協働のまちづくり推進委員会 会議録

日時	令和4年10月21日(金) 13:30~15:00
場所	すこやかセンター2階会議室1
出席委員	小出会長、清水副会長、小川副会長、新委員、秋葉委員、岩澤委員、高谷委員、柳田委員、石井委員
欠席委員	川野委員、岡委員
事務局	市民活動推進課 林田課長、佐藤副主幹、大木、森久保 まちづくりコーディネーター 吉見
傍聴者	0名

[会議次第]

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

- (1) 富里市市民活動支援補助金審査会関係について
- (2) その他

4 そ の 他

- (1) 実施事業について
- (2) とみさと市民活動サポートセンターについて
- (3) その他

5 閉 会

[会議概要]

	<p>次第3 議題 ー「協働のまちづくり推進委員会の運営に関する要綱」第3条第1項により、小出会長が議事の進行を務めるー</p>
<p>会長</p>	<p>(1) 富里市市民活動支援補助金審査会関係について それでは(1) 富里市市民活動支援補助金審査会関係について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ー事務局より説明ー</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今、事務局から説明がございました。 何か質問等はございますか。 発言される場合は、挙手願います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>プレゼンテーションと質疑応答の時間はどのようにして決まっているのか。 数が多い時は変わるのか、いつもそうなのか。</p>
<p>会長</p>	<p>審査要領で決めていて、数が多いから時間を減らしたり、少ないから増やしたりはしていない。</p>
<p>B 委員</p>	<p>時間が決まっているのは、公平性、平等に審査するという観点からだと思う。 7分と5分という設定は、今までの実績や経験から決まっている経緯があって、科学的な根拠等はないと思うので、この場で時間配分については検討できる。</p>
<p>A 委員</p>	<p>プレゼンテーションの7分以内というのは、団体が7分以内に収まるように作り込みをすればいいので問題ないと思う。 長くするべき部分は、質疑応答の部分。 今までの5分では、1人の質問が長いとそれで時間が経過してしまい、聞きたいことやもっと知りたいことが分からないまま終わってしまう場合があった。 個人的には15分は欲しい。他市との比較をしてみると、10分くらいが妥当なのかもしれないが、15分あれば十分な質疑応答が</p>

C 委員	<p>できると思う。</p> <p>私も質疑応答の時間は短いと思う。</p> <p>今までやってきた中で、質問したいが時間で切られた委員はいると思う。ここはトータルの審査時間もあるが、思いをもって応募をした団体に応えたい部分もあるので、できれば長くしてもらいたい。</p>
会長	<p>質疑応答の時間が短いとは感じてはいるが、最近の状況を見ると、パワーポイントで作られた資料が多く、それを見て質問が出ている。</p> <p>団体の方でも、質問が出ないような作り込みも必要ではないか。</p> <p>公金を扱うことになるわけなので、パワーポイントに頼ったものではなく、ポイントをしばった形でプレゼンテーションをしてもらいたい。</p> <p>時間うんぬんではなく、質問の捉え方や考え方ではないか。</p>
A 委員	<p>そこまで求めるとなると、プレゼンテーションのための講座を受ける必要があるのではないか。</p> <p>行政でもそのような講座があるとは思いますが、参加はあくまで任意。プロがやっているわけでないので、そのために自分たちの時間を使って学ぶということを選択するのか。</p> <p>プレゼンテーションをしてもらった中で、認識の違いなども出ると思うので、そういう部分のすり合わせをする意味でも、質問は必ず出ると思う。</p>
会長	<p>サポートセンターでは、プレゼンテーションに臨む上で、団体に助言等しているので、活用してもらえれば。</p> <p>過去には質疑応答に対応できず、不採択になったケースもある。</p> <p>申請団体には、書類だけでは伝わらない思いを語ってほしい。</p> <p>プレゼンテーションを設けていることは、そのチャンスを与えているということ。</p> <p>なかなか文字では表せないところを、委員の皆さんにお伝えをして、判断していただく。プレゼンテーションを設けることは制度としてもいいと思うので、きちんと要点をまとめて、質問が出ても簡潔に答えていただくようにしてもらえれば。</p>
D 委員	<p>事前に資料が送られてくるので、それを読み込み、現場なども見</p>

	<p>る事で、ある程度理解してくれば、そこまで質問が出ないのではないか。現場が分からない部分もあると思うが、私達委員も十分、学習をしてこななければいけないと思う。</p> <p>以前に、事前に会議を開いて、質問事項を検討したらいいとあったが、それもいいと思うが、まずは事前に送付される資料をしっかりと吟味しなければいけないと思う。</p> <p>時間的には、たしかに5分は妥当なのかという部分はあるが、ある程度の方がきちんと資料を読み込んだうえで質問するというスタンスであれば、そこまで割く必要はないのではないか。</p> <p>白井市の補助金の審査に関わったことがあって、そこでやられていた方法が、審査会の前に、意見出しの時間を設けるということ。</p> <p>そこで出てくるのが大きく分けて2種類で、ひとつは事実確認の部分。お金のつじつまが合わないであるとか、書いている内容が専門的過ぎて、中身が分からないであるとか。</p> <p>もうひとつは、委員の認識や解釈の違いの部分。これについてはどうしても出てくる。</p> <p>そういう論点を出す時間を設け、単純なことについては事前に事務局を通して確認し、審査会前にフィードバックしていただいている。それにより、設けられた質疑応答の時間内で収まっている。</p> <p>ひとつの検討の素材としては、事前の読み合わせを実施するかどうか。</p> <p>白井市と富里市でひとつ違うところは、補助金の申込が予算に達していなければ、その都度申込を受付するという部分。白井市に関しては、予算に達していなくても1回のみである。</p>
B 委員	<p>資料の事前配布については、スタートからではなかった。</p> <p>私自身は、事前に配られた資料で疑問に思う部分は、事務局に連絡をして、団体と調整を図ってもらい、準備をしてもらっている。</p> <p>疑問に思う部分があれば、事務局へ問合せをしていただければ。</p> <p>市民の意見を市民の委員が判断し、市長へ答申するという部分を考えれば、委員会自体も精度を高める必要がある。</p> <p>疑問点は事前にクリアにするなどして、審査会がスムーズにいくように我々委員も努力をしなければいけない。</p>
A 委員	<p>疑問に思う部分を事前に事務局に質問していることは凄くいいと</p>

事務局	<p>思った。</p> <p>そのやりとりの部分は、委員全員が共有できたほうがいい。チャットワークなど活用ができないか。</p> <p>そのやりとりの中で、理解度が深まったりすることもあると思うので、使い易いものを選択し、やってみたらどうか。</p> <p>御提案のあったチャットワークについては、使うことができないので、各委員から質問事項があった場合、今後はメールのほうで質問内容と質問の回答を送付し、共有させていただく。</p>
C 委員	<p>今日出た意見と同じ内容を以前にも提案している。</p> <p>委員の同意があれば、午前中などに集まり、審査に関して、思う部分の意見をそれぞれ出してもらい、意見をまとめたうえで、代表を決めて質問するような形で整理したら、5分でもいいと思う。</p> <p>今の形では、会としての意見ではなくて、個人の意見になっているところが強い。</p> <p>もう1点聞きたいことがあったが聞けなかったという残念な思いをしている委員がいることを踏まえ、会議とは別の時間で整理するなどすれば、今出ている課題はクリアできるのではないか。</p>
事務局	<p>提案の部分については、委員の皆様の同意があれば、同日の30分前の13時に集まっていたいただき、意見の調整をしたうえで、13時30分から審査会のほうに入っていく流れでも問題ないので、会長に諮っていただければ。</p> <p>午前中からでは、お昼をまたいでしまう等あるので、審査会開催時刻の30分前を開会としてもらえれば対応は可能と考える。</p>
B 委員	<p>当日であれば委員会の時間と審査会の時間を分けるという形もあると思う。</p> <p>13時に会議が始まり、30分は審査にかかる事前の打合せの会議の時間、13時30分からは審査会の時間、それが終わって議題があれば、また会議の時間といったように。</p>
会長	<p>事務局から提案のあった30分前に事前の打合せをし、質問の整理をして、審査会に備えるということでもいいか。</p>

C 委員	会議の中に、事前の打合せを組み込む形でいいか。
事務局	組み込んだ形で問題ない。
E 委員	質疑応答が長いほうがいいという意見があって、B 委員が携わった白井市は質疑応答の時間が長く設けられているが、実際どうなのか。
B 委員	その設定で、それなりに運用ができていたと思う。
事務局	それでは、委員会の開会時刻を 30 分早め、会議の中で、事前の打合せや協議をいただければ。
F 委員	意見をすり合わせる時間を取るということだが、申請数が今年度のように多かった場合、すべてをすり合わせることは難しいのではないか。すべての委員の質問を 1 本化して、質疑応答にそれを持っていくとなると、すり合わせの時間はもっと必要になる。30 分では無理があると個人的には感じた。
会長	委員の独立性が担保されるのかという懸念はある。 それぞれの立場があって意見が出た中で、多数の意見に淘汰されてしまわないか。
C 委員	ひとりの人が一つの団体に対してすべて意見を言うわけでない。 委員がどういう質問をしたいか出し合って、同じ意見のものや自分以外の視点を共有して、質問したい人が必要な質問をできるように整理したいということである。 会議の時間にも制約があると思うので、全員が満足するような時間は取れない。限られた時間の中で、どれが一番ベストか探った時に、意見を出し合った中で共有したほうが良いと私は思った。 それにより、今までは埋もれてしまった必要であったかもしれない質問を拾えるのではないか。
D 委員	事前の意見出しの時間によって、自分の考え方が無くなってしまうのではないか。委員それぞれが、申請してきた団体の評価をある程度想定してきていると思う。その中で、多数の意見や評価に引

<p>会長</p>	<p>張られてしまって、自分の意見が出なくなるのではないか。</p> <p>行政サイドが時間配分をどう捉えるか、事務局にも判断してもらえれば。</p> <p>次に進みます。</p> <p>部門の1本化の方向で特に意見はないと思うが、文言等の整備という部分で少し検討したい。</p> <p>審査項目がそれぞれあると思うが、改正（案）では事務局が手を加えた部分を提示している。</p> <p>個人的には公益性の部分で、「地域や社会の現状に照らし、必要かつ重要な事業であるか。」とあるが、「重要」という部分が引っかかった。少し言葉が強過ぎるのではないか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>この文言で行くとハードルが高いと思う。</p>
<p>D 委員</p>	<p>前回の会議では、この部分の文言について内容が難しいと指摘した。</p> <p>それを受け、市のほうで考えて手を加えてくれたと思うが、「重要」「必要」という言葉は、調べてみると、役に立つことという意味である。ここに関しては問題ないと個人的には解釈している。</p>
<p>会長</p>	<p>「重要」ということから少しトーンを下げて、「有益」などでどうか。</p> <p>重要かどうかで判断した場合、そうでないものは大きく点数が下がってしまうのではと思った。</p>
<p>B 委員</p>	<p>「重要」という部分を「有益」という言葉にすることは賛成である。ここでは特定の人のお益ではなくて、不特定の人のお益を指すと思うので、わかりやすい。</p> <p>もう一つの意見としては、市民活動で特定の地域を対象とする活動は多くある。それらをどのようにすくいあげるか。どう意義を認めてあげるか。</p> <p>すべての地域でやっていないと駄目ではなく、特定の地域でやっていることが、モデルになったり、他の地域の気づきにもつながったりするので、それもある種の有益かなと思う。</p> <p>それらも踏まえて検討の材料に加えていただければ。</p>

会長	事業の目的と効果の部分はどうか。
C 委員	内容が期待度の部分と被っているように思う。整理できるのであれば整理をしてもらいたい。
会長	実現性の部分ではどうか。
B 委員	<p>「事務の遂行体制が整備されているか」の「事務」の部分 少しわかりづらい。</p> <p>団体の事務局を指すのか、申請されてきた事業の活動を指すのか わからないので少し検討をいただければ。</p> <p>ここでは新しく加えていただいた部分がわかりやすく解説しているのかなと思う。</p> <p>そうするとひとつが、実施体制という部分で、事業を実施するに当たり、役割分担等がきちんとされているのかどうかという人の部分の話。もうひとつは適切な収支予算がたてられているか、財源の見込みがあるのかというお金の部分の話。</p> <p>これらを二つに分けてもいいかなと思う。</p>
会長	期待度の部分ではどうか。
A 委員	<p>「地域資源」と聞いた時に理解できるか。</p> <p>一般的にイメージができないので、わかりやすい表現のほうがいいのでは。</p>
B 委員	私も同様の意見。社会福祉の領域でよく使われる言葉で業界用語のようなものである。
E 委員	福祉でいう地域資源は、身の回りにあるものすべてを指す。本人も資源のひとつである。
事務局	今意見をいただいた地域資源の部分は、継続性の部分で、「地域の人材、情報、資金など地域資源を駆使した～」とあるので、同じ文言で統一させていただく。
会長	継続性の部分ではどうか。

B 委員	<p>文言は問題ないと思うが、上げる順番が逆のほうがいいかなと思う。</p> <p>今の改正（案）では、二列表記の後者が、事業の継続性という部分に触れていると思うので、そちらを先に持っていき、団体の自立という流れに持っていった方がいいと思う。</p>
会長	<p>審査の視点の文言等については一通り意見をいただいたので、次の採点票の一本化についてはどうか。</p> <p>最初からこの形ではなく、色々試行錯誤しながら、今の形になった。</p> <p>点数の配分については、今までどおりでいいか。</p> <p>—委員了承—</p>
B 委員	<p>採点票にかかる部分では、先ほどの検討の中から、項目の2つ目の見出しを変えた方がいいと思う。「効果」については、項目4つ目の「期待度」のほうで再現するといった意見があったと思うので、ここは「目的の明確さ」の表現でどうか。</p>
会長	<p>補助事業の決定部分の見直しについてはどうか。</p> <p>見直し（案）は推薦順位や同点の場合の部分を付け加えている。この内容でいいか。</p> <p>—委員了承—</p>
事務局	<p>一通り御協議いただいたが、事務局で改めて整理しました内容を確認させていただく。</p> <p>質問事項については、メールにて内容と回答をフィードバックし、またそれらを踏まえて、審査会の30分前に会議を開催し、協議をしていき、共有を図っていくという形でいいか。</p> <p>また、プレゼンテーションの時間の配分と、質疑応答の時間配分についてはいかがか。</p> <p>事務局としては決めていただきたい。</p>
A 委員	<p>会議を30分早めて事前に協議を設けても、質疑応答については、時間を延ばしていただきたい。</p>

E 委員	プレゼンテーションを聞いた後、突発的な質問はいいのか。
C 委員	30分前の議論があっても、7分から10分くらいの質疑応答の時間を作っていただいて、質問が出なければ時間いっぱいやる必要はなく、時間の許す中で、質問ができるような時間的余裕を持たせられればいいのではないかと。
会長	申請団体は、どんな質問がくるかわからない状態なので、時間が長くなること自体がプレッシャーになるのではないかとこの思いもある。
事務局	事前に質問を調整した上でも、質問は出てくるとは思うので、事務局の提案だが、質疑応答の時間もプレゼンテーションの時間と同様の7分以内でどうか。 こちらを御検討いただければ。
事務局	補足説明だが、プレゼンテーションは画像や映像を見ながら聞くことが多いので、当然新たな質問も出てくると思う。 今の議論を踏まえて、7分+7分の同時間で、プレゼンテーションと質疑応答の時間を設定させていただくということではいかがか。
会長	事務局から具体的な提案があったが、この設定でよろしいか。 ー委員了承ー
B 委員	事前の打ち合わせの部分で、30分は目安で出たと思うが、各審査会で出てくる団体数が違うと思う。 事前にするのは、すり合わせというよりは、どういうことを質問するのか、どういうことが気になったかという観点を出して、どのような順番で聞くのかという調整である。 それにどのくらい時間がかかるかというところで、申請数で全体の時間が変わってくると思うので、少し幅を持たせる必要があるのではないかと。
事務局	B委員の言うように、申請団体数には幅があるので、申請数に合わせた形で、流動的に時間のほうを調整させていただく。

会長	団体はその間、待つ形になるのか。
事務局	時間に合わせた形で、団体には集合してもらうよう通知する。
会長	色々な検討をいただき、まだ十分ではないかもしれないが、このような形で改正を進めてよろしいか。 －委員了承－
会長	他に意見はありますか。 －その他意見、質問なし－
会長	(2) その他 議題(2)その他について、委員の皆様から何かございますか。御発言される場合は、挙手願います。 －その他意見、質問なし－
会長	今日いただいた御意見等踏まえ、次回までに事務局で整理していただき、最終的に確定をするという流れになるので、よろしくお願ひします。他に意見はありますか。 －その他意見、質問なし－
会長	ありがとうございます。 他にないようであれば、これで、議題が終了いたしましたので、進行を事務局へお返しいたします。 次第4 その他 (1) 実施事業について 【とみさぼニューズレターVol. 26】 【市民活動ステップアップセミナー 報告】 【まちづくりサポーター交流&意見交換会 報告】
事務局	－以上を事務局より説明－

事務局	<p>それでは、事務局からの説明について、質疑などございましたら、お願いします。</p> <p>－その他意見、質問なし－</p> <p>(2) とみさと市民活動サポートセンターについて 【とみさと市民活動サポートセンターの利用状況について (報告)】</p>
事務局	<p>－実績表により説明－</p> <p>【相談・問い合わせ対応記録について (報告)】</p>
事務局	<p>－件数報告－</p>
事務局	<p>それでは、事務局からの説明について質疑などございましたら、お願いします。</p>
事務局	<p>－その他意見、質問なし－</p>
事務局	<p>(3) その他 委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
G 委員	<p>－令和4年10月29日(土)開催の「魅力発見!とみさとフェスタ」についてのお知らせと「人参レシピコンテスト」のお知らせ－</p>
事務局	<p>－上記と同日開催の「多文化共生のまちづくりを考えるシンポジウム」&「異文化を知ろう、学ぼう体験会」についてのお知らせ－</p>
事務局	<p>他に意見はありますか。</p> <p>－その他意見、質問なし－</p>
事務局	<p>－事務局より次回開催日の説明－</p> <p style="text-align: center;">(閉会)</p>